



医学総合特論バイオニアセミナー 第137回実験実習支援センターセミナー

ストローマ細胞と自己免疫



安友 康二 先生

徳島大学大学院医歯薬学研究部・
生体防御学分野 教授

日時 2024年 7月1日 (月) 18:10～19:50

場所 臨床講義棟 1階 臨床講義室 1

(会場およびZoomによるハイブリッド開催)



各種自己免疫疾患では、T細胞と抗原提示細胞の相互作用が初期T細胞応答に必要です。一方、最近の研究によって、非免疫細胞であるストローマ細胞もT細胞応答に重要な役割を持つ報告がなされています。我々は、シェーグレン症候群(SS)モデルマウスおよびヒト唾液腺生検サンプルを用いて、T細胞とストローマ細胞のどのような相互作用がSSの病態発症に関わるかについて検討しています。今回のセミナーではSSの病態に関わるT細胞とストローマ細胞の相互作用を制御する分子機構と、唾液腺生検サンプルを用いたマルチプレックスspatial解析の結果を紹介します。

主催：実験実習支援センター



国宝 彦根城